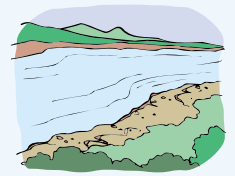


流れ清き太田川

(静岡県企業局)



森町の中央を流れる太田川は、清流・太田川として多くの人々に親しまれています。



▲天森橋付近の太田川



▲太田川の親水公園付近で遊ぶ子供たち

太田川をのぞいてみれば

清流と呼ばれる太田川では、アユ、アブラハヤ、アマゴなどの魚類や川エビが多く見られます。そのほか、様々な水生生物なども見ることができます。

また、水辺の木の枝には溪流のヒスイと呼ばれるカワセミの姿が見られることもあります。



▲カワセミ（森町の鳥）

表－1 水生生物の調査結果（太田川天森橋下）

調査日		H11.9.10	H12.8.23	H13.8.8
天候		曇り	晴れ	曇り
水質	指標生物	見つかった指標生物：○、数が多いもの：●		
Ⅰ きれいな水	カワゲラ	●	●	●
	ナガレトビケラ	○	○	○
	ヤマトトビケラ	○	○	○
	ヒラタカゲロウ	○	●	●
	ヘビトンボ	○		
	サワガニ	○		
Ⅱ 少しきたくない水	指標生物は確認されませんでした			
Ⅲ きたくない水	指標生物は確認されませんでした			
Ⅳ 大変きたくない水	指標生物は確認されませんでした			

森消費者クラブでは、毎年夏に太田川天森橋（上記写真左）の下で水生生物の調査を行っています。

過去3年の調査結果は、右表（表－1）のとおりです。

カワゲラ、ヒラタカゲロウなど、きれいな水に生息する生物が確認されています。

出典：「水生生物による水質調査結果」
（静岡県環境衛生科学研究所）

（参考）水生生物による水質調査

水生生物による水質調査は、水の中に住んでいる多くの生物が、水質の変化に敏感で、その地点の水質によって生息する生物の種類や数に変化するという特性を利用して、河川の水質を評価しようとするものです。

表－2のとおり水質に応じて指標生物が決まっています。

表－2 水質評価の指標となる水生生物

水 質	指 標 生 物
Ⅰ きれいな水	カワゲラ、ナガレトビケラ、ヤマトトビケラ、ヒラタカゲロウ、サワガニ など 9種類
Ⅱ 少しきたくない水	コガタシマトビケラ、オオシマトビケラ、ゲンジボタル、カワニナ など 9種類
Ⅲ きたくない水	ミズカマキリ、ヒル、タニシ など 7種類
Ⅳ 大変きたくない水	セスジユスリカ、サカマキガイ、アメリカザリガニ など 5種類

ダム本体工事を本格的に着工します。

～付替県道（県道大河内森線）の一部開通～

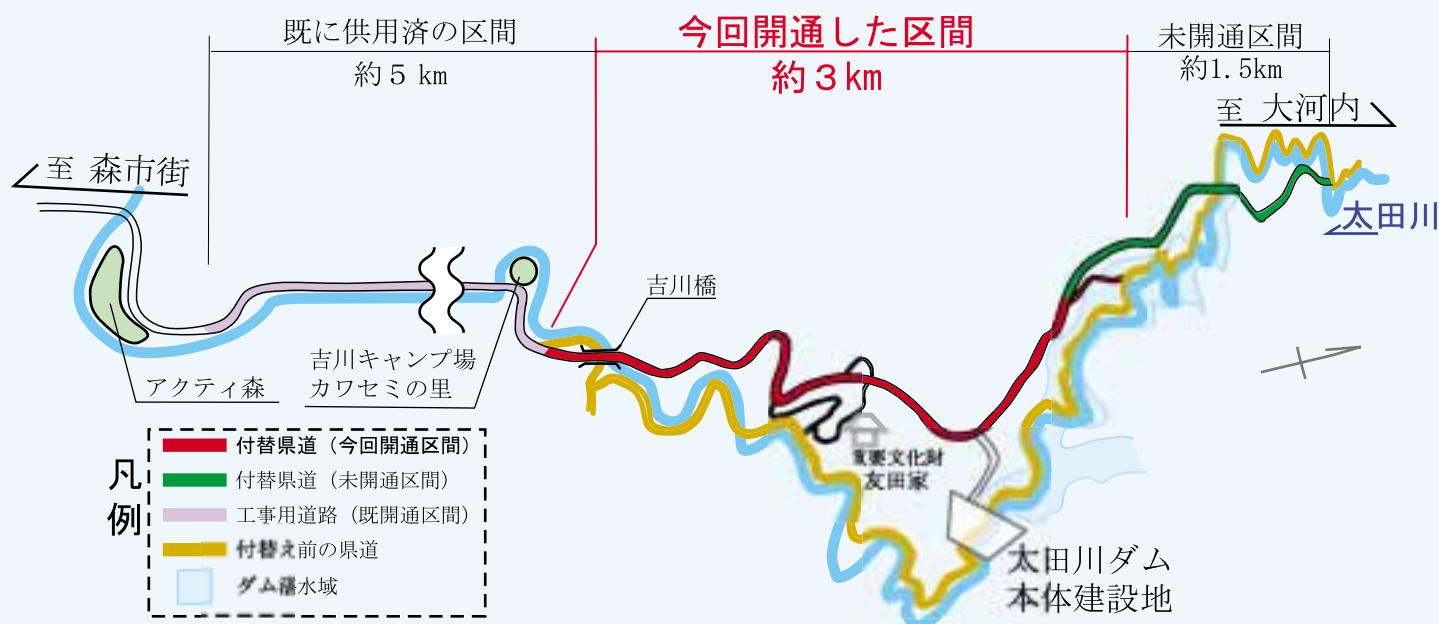
平成14年8月5日に、付替道路として整備を進めてきた、県道大河内森線の吉川橋から片吹までの約3km区間が開通し、太田川に沿って走る現県道の交通は、新設された道路に切り替わりました。

工事用道路としての役割も担う付替道路の完成により、ダム本体建設は秋口から本格的に掘削工事に着手します。

なお、片吹から上流へは、これまでどおり現在の県道を利用いただきます。工事中につき、道路が幅転してご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



▲平成14年8月5日の開通式



環境に配慮して工事を進めています。

～太田川ダム環境対策連絡会の設置～

太田川ダムでは、貴重な動植物への影響を回避するために付替林道の計画を変更したり、ダムで水没する箇所の貴重植物を移植したり、クマタカ、オオタカなど猛禽類の繁殖時期を考慮して工事を実施するなど、環境に配慮して工事を進めてきました。

今年度、ダム本体工事の着工にあたり、より確実な環境対策を行うために、動植物の専門家、地元の代表、関係行政機関、工事施工業者で構成する「太田川ダム環境対策連絡会」を設置しました。

連絡会では、自然環境に対する影響のほか、地元の皆様の生活環境についても十分な検討を行い、ダム建設工事が周辺環境に与える影響の低減に努めてまいります。

内容についてご質問等ございましたら…

静岡県・太田川ダム建設事務所

〒437-0215 静岡県周知郡森町森1582-1
TEL : 0538 (85) 2025 FAX : 0538 (85) 0885
<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/ootagawal/index.html>

(水道・水質について)

静岡県・企業局水道室

〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号
TEL : 054 (221) 2167 FAX : 054 (251) 5381



100
古紙配合率100%再生紙